

# 福竜丸だより

都立・第五福竜丸展示館ニュース



発行 (財)第五福竜丸平和協会 〒136 東京都江東区夢の島3-2 都立第五福竜丸展示館内 電話 03-3521-8494

明治時代終わりの頃から遠洋漁業の基地として発展してきた焼津は、一五年戦争期に大型漁船とその漁船員のほとんどを軍に徴用されました。敗戦後、無事に戻ってきた漁船は数えるほどしかなく、漁船員の多くも亡くなり、焼津の漁業とその関係者は壊滅的打撃を被りました。この苦難を乗り越えて、復興のいしづえがきづかれた頃、事件はおこりました。一九五四年(昭和二九)三月一日に、焼津港所属の第五福竜丸が、アメリカの水爆実験で被曝した事件は、焼津の市民生活に大きな影響を及ぼしたので

事件が報道されると、「放射能が付着している」と焼津のマグロは市場でまったく買手がつかず、魚価は暴落し、その影響はその他の水産加工品などにも及びました。また、市内の小売店、飲食店、寿司屋などにも客は寄りつかなくなり、ようやく復興しつつあった焼津の基幹産業である水産業界は深刻な不況におちいりました。さらに、この事件の調査、報道のために多勢の人々が押し寄せ、市内は騒然となりま

また昨年、焼津市議会においては、六月二八日に、全国の自治体にさきがけて、核兵器全面禁止・廃絶国際協定(条約)締結を求める「意見書」を全会一致で採択し、国に提出しております。第一〇回特別展「第五福竜丸」の開催 焼津市歴史民俗資料館主催の特別展も一〇回目となり、事件後四〇年を経た事件について今一度振り返り、核兵器や戦争のない平和の大切さを訴えるため、「第五福竜丸」をテーマにした展覧会を八月一九日(二面下段へつづく)

## 焼津の町から平和の願い

焼津市歴史民俗資料館

山口和夫 藤田光浩

## なまの資料をわが目で見る 浦山 和子

とうとうやってきたぞ。ゆっくり建物の外観をながめるどころではなく、バタバタと展示館にとびこんでいきました。生協組合員のお母さんを中心におじいさんおばあさん、ベビーカーの子どもから高校生まで総勢四七名。朝六時半に焼津駅に集合し、鈍行列車にゆられること四時間。東京駅でのかえ、新木場駅から炎天の中を案内板をたよりに歩いて、ほんとうにやっとなつたという感じです。

この見学を企画した私たち焼津岡部生協委員会としても微力ながらビキニデー、平和行進、久保山

### 「産みの親」甲板に立つ

「視力のある内、もう一度見ておきたかった」八月十三日、第



10年ぶりに船に立つ南藤さん

五福竜丸の「産みの親」南藤藤夫さん(七六歳)が、ご家族と和歌山県古座から来館された。

「左の目はもう見えないんです」「去年位に連れてくればよかったですけど」と、奥さんと息子さん。しかし、「目以外悪いところなし」と、船内にも軽々と入られる身のこなし。仕事はすでに息子さんに譲られたが、今でも造船所には毎

けれど今年、ビキニ事件から四十年、というのでますます思いは募り、「夏休みに『青春18きっぷ』ででかけたなら？」の思いつきをもとに計画を練り、二十人も集まればとよびかけたところが意外にも大ぜい集まって、りっぱに計画が実現したというわけだ。

展示品、つまり原資料をわが目で見るというのは貴重な機会ですし、またとてもありがたいことです。いろいろな人がいろいろなことをいっている。それはおいてこのなまの資料を見て自分はどう思ったのか。私は事件を報じた新聞記事の見出しに「死の灰つけ遊び回る」とあるのを見て思わずじっくり読んでしまいました。乗組員の方に非難めいた文章で、死の灰があちこちにまき散らされてはまわりがめいわく、というようにとれました。私の読みとり方がまちがっていたのならばいいのですが、当初はこんな調子だったのでしょいか。

あちこちから修学旅行で訪れるところもあるようです。事件ゆかりの焼津でもぜひ展示館見学を修学旅行のコースに組みこんでほしいと思います。私たちもまた組合員のお母さんたちによびかけていきたいと思います。(コピーしずおか焼津岡部生協委員会)

### チエルノブイリから女医さん

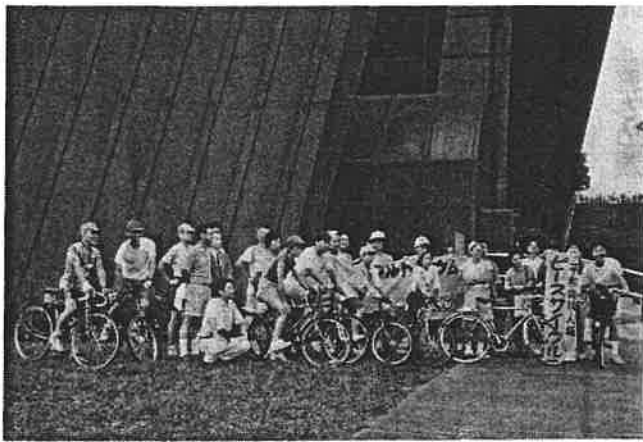
八月九日、「原発とめよう!東京ネットワーク」の青年一名が、島田興生さんを講師に展示館で学習会。刊行されたばかりの島田さんの新著『還らざる楽園』も資料にして、第五福竜丸の彼方にある島の人びとにいまも残る死の灰の影を改めて知り、太平洋の被ばく者との連帯にいま何ができるかを話し合いました。

八月二十七日来館した横浜市立中川西中学校二年生一五二名は、船尾から二階への階段いっばいを教室に、大石又七さんの一時間にわたる講演に耳を傾けました。

また、八月三十一日、エストニア・チエルノブイリ基金の招きで来日したアウシュラ・ケスミニエツンさんが服部学理事ほかのみなさんと来館、あらためて死の灰の恐ろしさをかみしめました。

平和への願いをあらたに 世界で初めて水爆犠牲者を出した焼津市では、一九八五年六月、第五福竜丸被曝以来三〇年を経過したことを機に、「核兵器の廃絶を願う焼津宣言」を決議し、以来、毎年六月三〇日に市民集会を開催しています。今年で一〇回目を迎えた記念集会は、式典のほか、小学生・中学生の「平和に関する作文コンクール」の発表や署名活動の報告などが行われました。

今年一月初めから焼津では、自治会連合会の協力のもと「核兵器全面禁止・廃絶署名」運動が盛り上がり、焼津市民一十二万五千人あまりのうち六四%を占める、七万四千二二三名もの署名がよせられました。



(第五福竜丸展示館から六ヶ所村へ、広島・長崎へ)

七月一九日に、館の代表の方から核兵器廃絶に向けた力強いアピールと私たちへの熱い励ましをいただいた、第五福竜丸前を出発した全国縦断ピースサイクルは、各地の仲間が自転車をリレーし、七月三十日に青森県六ヶ所村、八月五日にヒロシマ、九日にナガサキに到着し、六月の沖繩とあわせて、日本国内での全日程を終了しました。後は、十一月のマレー半島(泰緬鉄道)ピースサイクルを残すのみです。

静岡の仲間たちは、毎年故久保山愛吉さんの墓前に立ち寄って核兵器廃絶を誓い、また東京の私たちも第五福竜丸に立ち寄ってきましたが、今年初めて館の方にご挨拶いただけたことは、運動にとって大きな励ましとなりました。

私たちは、自転車で全国を走りながら各地の自衛隊基地、米軍基地、原発施設、戦中に掘られた地下壕などに立ち寄りました。長野の松代大本営跡の地下壕をはじめとするこれら戦争の爪痕は、いまだに当時の様子



### 平和の銀輪、全国をつなぐ

#### 牧野和宣

三十日に青森県六ヶ所村、八月五日にヒロシマ、九日にナガサキに到着し、六月の沖繩とあわせて、日本国内での全日程を終了しました。後は、十一月のマレー半島(泰緬鉄道)ピースサイクルを残すのみです。

をなまなましく伝えてくれますし、基地は相変わらず幅をきかせています。

ことはいかんと考えた大阪の青年が、自転車で八月六日のヒロシマに向かったことがきっかけで始まりました。たった数人の行動が多

### 「第三の被ばく死」に取組んで

#### 田中 弥須子

ビキニでの米国核実験で被ばくした第五福竜丸―久保山愛吉さんの死―その先がブツリ切れていた私の脳裡に、突然雷鳴が走ったのは、一九九一年一〇月二五日付新聞「外務省の秘密文書公開」記事でした。

ビキニ死の灰を浴びた男の38年を見た私は、東京に住む元乗組員大石又七さん(当時入院中)に、直接面会したいと思い、夏も過ぎた頃連絡をとって、すでに退院の大石さんと、たまたま久保山さんの命日(九月二三日、第五福竜丸展示館で、夫と共に対面を実現したのです。

画家S氏が「焼津海岸の砂」を届けてくれたことから、インスタレーション構想がにわかに現実みを帯び、私は、玄関の容器に入れてある持ち上げられないほど重いねずみ色の砂をのぞいては、強い潮の匂いをかきながら、設置表現のイメージをふくらませるのでした。

(一面よりつづく) から九月一六日まで開催しています。財団法人第五福竜丸平和協会の特別の御配慮をいただき、貴重な資料を多数お借りして展示することができました。事件関係資料を一堂に集め展示するのは事件後初めてのことで

そこには被ばくの事実を明るみにした第五福竜丸を、証拠隠滅のため沈船しようと企てていた米國が、運動の拡がりを怖れて日本の外務省に圧力をかけ、「意図して実験海域へ近づいたのではないかと、スパイ嫌疑までかけていた内容が記されていました。注意深く関連記事を読み進むうちに、被ばく漁船は全国で五四八隻、被ばく漁民は一万人以上と推定される―という事実が、闇に葬られ、人々の視界から消されてきたわけです。驚きそして重たい怒りの渦が、胸の底に拡がるのを覚えました。

二年後の一九九四年は、第五福竜丸が被ばくして四十年の年―絵画とインスタレーション(設置構成)に取組んでいる私は、自分の中で日増しに大きくなっていく第五福竜丸をテーマに、「職美展」で発表する作品について、四六時中考える日々でした。

いよいよ発表時期(一九九四年六月)が目前に迫り、内諾は得ていたものの、ガラス容器や台座をはずすことに難色を示した展示館員から、強引に模型を借用したのです。抑止できない力がこみ上げて、第五福竜丸と一体化したような自分に、我ながら驚きました。

開催中の特別展のアンケートの中でも「昔の事件をはじめ知りませんでした」という声が目につきました。それには、小・中学校とも連携を取り合って、活動することの大切さも痛感しています。

(画家)